

データカセットVXA 説明書

【 更 新 履 歴 】

版数	更新日	更 新 内 容
01	2007/03/06	初版作成

目 次

はしがき	3
安全上の注意事項.....	4
第1章 データカセットVXAの構造について	5
第2章 データカセットVXAの仕様について	6
第3章 データカセットVXAの取扱いについて	7
3.1 定期的なヘッドクリーニング	7
3.2 データカセットVXAの交換時期について	7
3.3 使用・保管環境	8
3.4 保管上の注意	8
3.5 輸送上の注意	9
3.6 取り扱い上の注意	9
3.7 ラベル貼り付け上の注意	10
3.8 その他の注意	10
第4章 データカセットVXAのトラブル事例	11
第5章 データカセットVXA関連商品	12
5.1 クリーニングカセット	13
第6章 お問い合わせ先について	14

は し が き

本書は、V X Aテープ装置に使用される媒体(データカセットV X A)について、その構造、取扱い上の注意事項およびトラブル事例を記載しています。システムの安定稼動のため、ご一読頂きますようお願いいたします。

本書の構成と内容

本書は、以下に示す6章から構成されています。

- 第1章 データカセットV X Aの構造について
データカセットV X Aの外観、および構造について説明しています。
- 第2章 データカセットV X Aの仕様について
データカセットV X Aの仕様について説明しています。
- 第3章 データカセットV X Aの取扱いについて
データカセットV X Aの取扱い上の注意事項について説明しています。
- 第4章 データカセットV X Aのトラブル事例
運用でのトラブル事例を示しています。
- 第5章 データカセットV X A関連商品
データカセットV X A関連商品を説明しています。
- 第6章 お問い合わせ先について

安全上の注意事項

重要な警告事項の一覧

本マニュアル中に記載している重要な警告事項は以下のとおりです。



注意

正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自身またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

作業区分	警告事項	ページ
通常使用時	装置損傷・データ破壊・媒体損傷 ・データカセットを装置に挿入した状態で、電源を切断しないでください。記録したデータを保証できない場合があります。	8 3-3 項
	装置損傷・データ破壊・媒体損傷 ・データカセットは専用の P P ケース () に収納して保管してください。 ・直射日光のあたる場所や塵埃の多い環境には放置しないようにしてください。 ・電源ケーブル、モータ、電源などに近づけないでください。放射磁界により記録データが破壊される恐れがあります。 P P ケース：納品時にデータカセット V X A が入っているプラスチック製のケース	8,9 3-4 項
	装置損傷・データ破壊・媒体損傷 ・外部から持ち込まれたデータカセット V X A の使用、もしくはデータカセット V X A を外部へ持ち出す時は、急激な環境の変化をさけ、かつ、外部保管期間もしくは使用期間と同等の時間 () で輸送・搬送先の環境に十分なじませてください。) 例： 外部で 6 時間 6 時間なじませる。 外部で 1 日以上 2 4 時間なじませる。 ・運搬の際には、浸水、汚れ、磁界、温度変化、振動、ショックなどからデータカセット V X A を保護するため、P P ケースに収納の上、コンテナなどに収納して輸送してください。	9 3-5 項
	装置損傷・データ破壊・媒体損傷 ・落下の恐れがあるので、データカセット V X A は、積み上げないでください。損傷したデータカセット V X A を使用すると、装置が故障する場合があります。	9 3-6 項
	装置損傷 ・データカセット V X A に貼り付けるラベルは、必ず添付されているラベルを使用してください。ラベルが剥がれたままロードすると、装置の障害を誘発します。 ・時間経過したラベルは、剥がした際に粘着物がデータカセット V X A 表面に残り、清掃しても除去しきれない場合があります。この状態で使用した場合に、障害が発生するおそれがありますので、必ず添付のラベルを貼り付けるようにしてください。	10 3-7 項

第1章 データカセットVXAの構造について

データカセットVXAの外観、および構造を以下に示します。

外観図（データカセットX23 VXAの例）



図 1.1 外観図（データカセットX23 VXA）

- リッド : カセットの蓋
- ライトプロテクトタブ : 書込み保護用のタブ（開くと書込みが禁止される）

第2章 データカセットVXAの仕様

データカセットVXAの仕様を以下に示します。

表 2.1 基本仕様

項 目	X 2 3 V X A	V 1 7 V X A	V 6 V X A	
磁性体	A M E			
非圧縮記録容量 (圧縮時)	80GB (160GB)	60GB / 33GB (120GB / 66GB)	12GB (24GB)	
データ記録 フォーマット	V X A - 2	VXA-2 / VXA-1	V X A - 1	
寸 法	テープ幅	8.0mm		
	テープ長	230m	170m	62m
	テープ全厚	5.0 ~ 5.5 μ m	6.5 ~ 7.3 μ m	
	カセットケース	W95.0mm x D62.5mm x H15.0mm		

表 2.2 データカセットVXA装置適用表

	V X A - 2	V X A - 1
X 2 3 V X A	(80GB)	x
V 1 7 V X A	(60GB)	(33GB)
V 6 V X A	x	(12GB)

第3章 データカセットV X Aの取扱いについて

データカセットV X Aの性能と信頼度を確保するためには、その運用と取扱いに十分注意しなければなりません。また、データカセットV X Aは、消耗品です。

以下にデータカセットV X Aの取扱いに関する注意事項を述べます。

3.1 定期的なヘッドクリーニング

テープは、ベースフィルムに磁性層がコーティングされており、使っていくうちに装置のヘッドが汚れていきます。このため、定期的にヘッドクリーニングを行う必要があります。

【定期的なヘッドクリーニングの周期】

装置がクリーニング要求を通知していなくても、以下の条件で定期的にヘッドクリーニングを行って下さい。

表 3.1 クリーニング周期

項目	クリーニング周期
条件	次のいずれかの条件を満たす場合 ・定期的に使用しない場合：1ヶ月毎 ・装置の使用時間が累積で75時間を越えた場合

3.2 データカセットV X Aの交換時期について

データカセットV X Aは、消耗品であり定期的に交換が必要です。

データカセットV X Aの寿命は、お客様の使用環境条件によっても大きく変化しますが、以下を推奨値としています。

表 3.2 データカセットV X Aの交換時期

項目	データカセットV X Aの交換時期
条件	次のいずれか早い方 ・使用回数：200回 ・使用期間：1年

新しいデータカセットV X Aを使用する場合には、データカセットV X Aに使用開始日を表記してください。次回のデータカセットV X A交換の目安になります。

3.3 使用・保管環境

データカセットVXAは、装置内では磁気記録面が露出しており、この状態が長く続くと浮遊塵埃の影響を受けやすくなります。

装置は埃の多い場所を避けて設置し、データカセットVXAは、使用する時に装置にセットし、バックアップ終了後はデータカセットVXAを取り出してケースに入れて、埃や温度変化の小さい場所に保管してください。

装置の設置や媒体の保管で避けて頂きたい場所は次の通りです。

- 床に直接置くこと
- 人通りの多い場所
- 開放されるドアや窓の近く。特に土埃や車の排気ガス、等の外部の影響を受ける場所
- 空気の取り込み口、吹き出し口の近く。(空調、エアコン、換気扇、等に注意)
- タバコの煙の影響を受ける場所(装置が設置された部屋での喫煙禁止)
- プリンタの近くでトナーの影響を受ける場所
- コピー機、シュレッダー、FAX等、紙を扱う装置の近くで、紙粉の影響を受ける場所

データカセットVXAを挿入した状態で装置の電源を切断することを固く禁止します。

必ず、データカセットVXAを排出してから電源を切断してください。もし、排出しないで電源を切断した場合には、前回バックアップしたデータを保証できない場合があります。

またこのような場合には、次回電源投入時にフォーマトリカバリ(テープ面に記録された管理情報の整合性を確認する作業)を自動的に開始しますが、数時間かかることがあり、その間、装置を使用することができません。



注意

装置損傷・データ破壊・媒体損傷

- ・データカセットを装置に挿入した状態で、電源を切断しないでください。
記録したデータを保証できない場合があります。

3.4 保管上の注意

保管環境条件

記録済みのデータカセットVXAを保管する際の環境条件を表3.1に示します。

表3.1 データカセットVXA保管環境

項目	環境条件
温度()	16 ~ 32
湿度(%RH)	20 ~ 80
最高湿球温度()	26
その他	結露無きこと



注意

装置損傷・データ破壊・媒体損傷

- ・データカセットは専用のPPケースに収納して保管してください。
- ・直射日光のあたる場所や塵埃の多い環境には放置しないようにしてください。
- ・放射磁界により記録データが破壊される恐れがあるため、電源ケーブル、モータ、電源などに近づけないでください。

PPケース:納品時にデータカセットVXAが入っているプラスチック製のケース

3.5 輸送上の注意

輸送環境条件

データカセットVXAを輸送・運搬するときには、表3.2に示す環境条件を守って下さい。

表3.2 データカセットVXA輸送運搬環境

項目	環境条件
温度()	-23 ~ 49
湿度(%RH)	5 ~ 80
最高湿球温度()	26



注意

装置損傷・データ破壊・媒体損傷

- ・外部から持ち込まれたデータカセットVXAの使用、もしくはデータカセットVXAを外部へ持ち出す時は、急激な環境の変化をさけ、かつ、外部保管期間もしくは使用期間と同等の時間()で輸送・搬送先の環境に十分なじませてください。

例: 外部で6時間 6時間なじませる。

外部で1日以上 24時間なじませる。

- ・運搬の際には、浸水、汚れ、磁界、温度変化、振動、ショックなどからデータカセットVXAを保護するため、PPケースに収納の上、コンテナなどに収納して輸送してください。

PPケース:納品時にデータカセットVXAが入っているプラスチック製のケース

3.6 取扱い上の注意



注意

装置損傷・データ破壊・媒体損傷

- ・落下の恐れがあるので、データカセットVXAは高く積み上げないでください。
- ・損傷したデータカセットVXAを使用した場合、装置故障を引き起こす場合があります。

3.7 ラベル貼り付け上の注意

データカセットV X Aに貼付するラベルは、接着性のよい、良質のラベルを使用することが重要です。

ラベルが剥がれたままロードすると装置の障害を誘発します。

- ・必ずデータカセットV X Aに添付されているラベルを使用してください。
- ・ラベル貼付面は清浄にし、指紋等の汚れを付けないように注意してください。
- ・ラベルは指定領域内に正確に位置付け、貼付後はしっかりと押し付けてください。特に端の部分は剥がれやすいので注意してください。

【備考】

当社（富士通コワーコ）が販売しているデータカセットV X Aには、上記の内容に留意した、良質のラベルが標準添付されています。



注意

装置損傷

- ・データカセットV X Aに貼り付けるラベルは、必ず添付されているラベルを使用してください。ラベルが剥がれたままロードすると、装置の障害を誘発します。
- ・時間経過したラベルは、剥がした際に粘着物がデータカセットV X A表面に残り、清掃しても除去しきれない場合があります。この状態で使用した場合に、障害が発生するおそれがありますので、必ず添付のラベルを貼り付けるようにしてください。

3.8 その他の注意

媒体を廃棄するに当たっては、以下の点に注意してください。

- ・データカセットV X Aを廃棄するときは焼却処分を行わないでください。
- ・使用済みのデータカセットV X Aは、「産業廃棄物」として処理してください。

第4章 データカセットVXAのトラブル事例

下記に、データカセットVXAの運用でのトラブル事例を示します。

(1) ヘッドクリーニングが不十分な場合

VXAテープ装置などの磁気テープ装置では、テープ媒体（メディア）から出る汚れや、空気中に浮遊している塵埃により、テープ装置の磁気ヘッドが汚れてしまいます。

このように、磁気ヘッドが汚れたままの状態で行くと、

- ・ バックアップ中に「メディアエラー」等のエラーが発生して、ジョブが失敗する。
- ・ 汚れたままの磁気ヘッドが、テープ媒体に接触してテープ媒体の表面を傷つけるため、テープがすぐに傷んでしまう。

といった不具合が発生します。

したがって、磁気ヘッドの汚れを取り除くため、定期的に『ヘッドクリーニング』を行うことが重要になってきます。

(2) データカセットVXAの寿命が管理されていない場合

テープ装置はテープ媒体（メディア）にデータを記録する機械ですから、テープ媒体に傷や汚れが発生すると、バックアップ運用にも問題が発生します。

このようなメディアを使用している場合は、バックアップ業務においてエラーが発生するなど不安定になるばかりか、テープ装置の磁気ヘッドを汚したり、場合によってはテープ媒体からはがれたゴミを磁気ヘッドに固着させてしまいテープ装置を故障させることもあります。

このため、テープの種別・使用回数・使用期間に応じてテープ媒体を定期的に交換し、傷や汚れが発生する前に対応することが肝要です。

(3) クリーニングカセットの寿命が管理されていない場合

クリーニングカセットは使用回数が決まっており、使用回数を超えた場合、クリーニング効果はありません。

システムの運用設計時に、定期的なヘッドクリーニングのスケジュールから、クリーニングカセットの寿命を算出して、クリーニングカセット交換の運用方法を検討する必要があります。

クリーニングカセットの使用回数は、装置によって異なりますので、装置の取扱説明書をご確認下さい。

(4) 装置にデータカセットVXAを入れたままでの運用および電源切断

データカセットVXAは、装置内では磁気記録面が露出しており、この状態が長く続くと浮遊塵埃の影響を受けやすくなり、エラーが多発します。

また、データカセットVXAを挿入したままの状態では装置の電源を切断すると、バックアップしたデータを保証できない場合がある上、次回電源投入時にはフォーマトリカバリ（テープ面に記録された管理情報の整合性を確認する作業）を自動的に開始するため、場合によっては数時間に渡って装置を使用することができなくなります。

データカセットVXAは、使用する時に装置にセットし、バックアップ終了後はデータカセットVXAを取り出してケースに入れて保管してください。

(5) ラベル表示に関するトラブル

データカセットVXAにラベル表示をする場合、貼ったラベルが剥がれたり、誤った位置に貼られたりしていると、装置にデータカセットVXAが入らない、装置から取り出せない等、ドライブ故障の原因となることがあります。

ラベルはデータカセットVXAに添付されているものを使用し、正しい位置に表示して下さい。

第5章 データカセットV X A関連商品

データカセットV X A関連商品には、以下の商品があり、富士通コワーコ㈱で販売しています。

表 5.1 データカセットV X A関連商品一覧

項	品 名	商 品 番 号
1	データカセットX 2 3 V X A	0 1 5 0 5 2 0
2	データカセットV 1 7 V X A	0 1 5 0 3 1 0
3	データカセットV 6 V X A	0 1 5 0 3 2 0
4	クリーニングカセットV C V X A	0 1 5 0 3 3 0

5.1 クリーニングカセット

(1) 外観図

クリーニングカセットの外観図を以下に示します。



図 5.1 クリーニングカセットの外観図

(2) クリーニング周期と使用回数

表 5.2 クリーニング周期と使用回数

項目	クリーニングカセットVC VXA
クリーニング周期	次のいずれかの条件を満たす場合 ・定期的には使用しない場合：1ヶ月毎 ・テープ累積走行時間：75時間毎
使用回数	80回(VXA-2) / 20回(VXA-1)

注) クリーニングカセットは使用回数に限度がありますので、使用した回数を管理してください。
使用回数を超えたクリーニングカセットを使用してもクリーニング効果は得られません。

第6章 お問い合わせ先について

お問い合わせ先は、下記の通りです。

富士通コワーコ株式会社
お客様総合センター ☎0120-505-279
月～金 9:00～17:30（祝日・年末年始除く）
<http://jp.fujitsu.com/coworco/>